

こんなことで悩んでおられたら…

たとえば…

- 退院して家に帰ってきたら前となんか違う。どう接したらいいの？
- 福祉のサービスでどんな支援を受けることができるの？
- 障がい者手帳や障がい年金などは該当するのかな？
- 仕事を続けたいけどできるかな？
- 同じ障がいの人はいるのかな？ 家族はどうしているのかな？
- どこで診断してもらえるの？



大阪府高次脳機能障がい相談支援センターでは、各関係機関と連携して高次脳機能障がいの支援を行っています。
ご本人、ご家族、支援者からのご相談をお受けしています。相談は無料です。



お気軽にお電話ください

高次脳機能障がいの相談窓口



大阪府高次脳機能障がい相談支援センター

(大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課内)

所在地 〒558-0001 大阪市住吉区大領3丁目2番36号

TEL: 06-6692-5262

FAX: 06-6692-5340

相談受付時間: 月～金 (祝日および年末年始を除く)

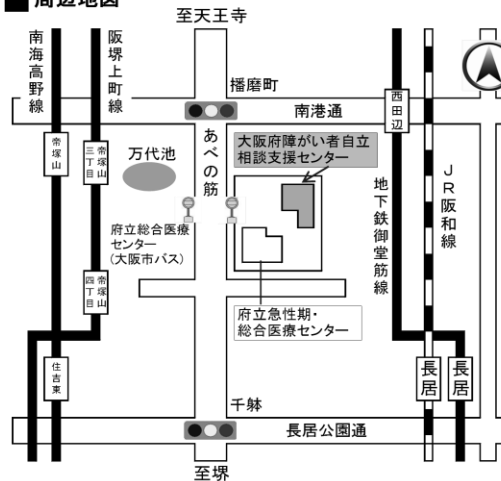
午前9時～午後5時

※電話相談や来所相談(要予約)ができます。

最寄り駅

- ① 大阪市バス「府立総合医療センター」下車すぐ
- ② 阪堺上町線「帝塚山四丁目」下車 徒歩10分
- ③ 南海高野線「帝塚山」下車 徒歩10分
- ④ JR阪和線「長居」下車 徒歩12分
- ⑤ 地下鉄御堂筋線「長居」下車 徒歩15分

■周辺地図



ホームページ

大阪府高次脳機能障がい相談支援センター

検索

<http://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsusodan/kojinou/index>

このちらしは30,000部作成し、一部あたりの単価は3円です。

脳を損傷したら
事故や病気で



大阪府高次脳機能障がい相談支援センター

事故や病気のあと このようなことはありませんか？

- 人や物の名前を覚えづらくなった
- 行き先や場所を忘れてしまうようになった
- 頼まれたことや約束を忘れてしまうようになった
- 何度も同じことをきくようになった
- うっかりミスが多くなった
- 一つのことを最後までやり遂げられなくなった
- 考える前に行動してしまうようになった
- 指示されなければ行動できなくなった
- 効率よく物事をすすめられなくなった
- イライラしやすくなった
- 心配りができなくなった
- 意欲がなく、何もしようとしなくなった
- 一つのことにとだわるようになった



これらの症状が見られたら、高次脳機能障がいかもしれません。

高次脳機能障がいとは？

けがや病気によって、注意・感情・記憶・行動などの高度な脳の働きをする高次脳機能をつかさどる部分が損傷され、記憶力や注意力の低下などの症状が現れることがあります。それらの症状を総称して「高次脳機能障がい」と呼びます。

主な原因

■脳外傷

交通事故・転落・転倒などによる
脳挫傷、びまん性軸索損傷
外傷性くも膜下出血

■脳血管障がい

脳梗塞、脳動静脈奇形
脳出血、脳動脈瘤破裂

■その他

低酸素脳症、脳炎、脳腫瘍
水頭症 など

※現れる症状には個人差があります。

主な症状

■記憶障がい

新しい情報を覚え、それを保持し、必要な時に引き出せなくなる。



■注意障がい

物や人に注意を向け、集中し、それを維持することができなくなる。



■遂行機能障がい

論理的に考えること、問題を解決すること、物事を計画することが難しくなる。



■行動と感情の障がい

欲求や感情のコントロールや、状況の理解などができなくなる。



高次脳機能障がいは、周囲の理解と対応、必要な支援を受けることで生活しやすくなります。本人や周りの方の気づきと理解が大切です。

